

永遠なる「中央ハート」を胸に

北秋田市立鷹巣中央小学校閉校式

市立鷹巣中央小学校（藤嶋勇久校長、児童数107人）が市の学校再編に伴い、3月末日で145年の歴史に幕を下ろしました。閉校式は、3月19日に同校で行われ、生徒や教職員をはじめ、卒業生などが出席し中央小学校に別れを告げました。



校歌

作詞 高村禪雄
作曲 岡田志津磨

一、その名も鷹巣中央と
偉容を誇る我が母校
郷土の文化背に負うて
心も体も鍛えつつ
伸びゆく我等を見よやみよ

二、青空高く聳え立つ
森吉山を仰ぎみて
希望に胸を膨らませ
手に手を取りつつ励み合う
我が学び舎を見よやみよ

三、今も昔も堂々と
流れてやまぬ米代の
河の流れを身にしめて
足並そろえて進みゆく
我等が姿を見よやみよ



▲近藤成道さんあいさつ

▲藤嶋校長あいさつ



▲藤嶋校長から津谷市長に校旗が返納されました



式典は、卒業した6年生を含む全校児童と教職員のほか、来賓として学校運営委員や、自治会長、市議会議員などが出席し行われました。

津谷市長は「本校は明治8年に「脇神学校」として創立以来、145年の永きに渡りこの地域の学校として親しまれてきた。本校は、プロ野球選手として長年に渡り活躍し、オリンピック・バファローズの指揮をとることになった中嶋聡監督や、大相撲の元関脇豪風の現在の押尾川親方を輩出するなど、野球、バレー、相撲、スキーなど各種スポーツで輝かしい成績を収めてきた。わらしこ山やぎやろっこ池、学校田、畑、花壇などの環境を整備し、体験活動を通して子どもたちの豊かな心を育んできた。このような素晴らしい環境で育った多くの卒業生が、それぞれの立場で活躍し、社会に大きく貢献されていることは、市としても誇りである。昨年11月7日に行われた閉校記念フェスティバルでは、皆さんの学校に対する強い愛情と感謝の気持ちが十分に表現され、そこには皆さんの合言葉である「中央ハート」の、「あかるく」「あつく」「あきらめず」の三つの心を感じとることができた。是非この「中央ハート」の精神を清鷹小学校でも受け継いでほしい。鷹

巣中央小学校を支えてくれた歴代の校長先生並びに教職員の皆さま、関係する全ての皆さまに、本校の設置者として心から感謝を申し上げるとともに、清鷹小学校での子どもの伸びやかな成長を願っている」と式辞を述べました。

来賓の黒澤芳彦市議会議長からのあいさつの後、児童を代表して近藤成道さんが「新学期を迎える3月に小学校とお別れしなくてはいいけない。地域の方々にはいつもやさしく見守り応援してもらった。大好きな中央小学校での思い出は尽きることなく、閉校式に出席した皆さんの心の中に大切な宝物として永遠に残るでしょう。清鷹小学校では中央ハートを引き継ぎ、新しい歴史を築いていく」と誓いを述べました。

津谷市長へ校旗を返納したあと藤嶋校長は「校旗を返納し、中央小学校が閉校する寂しさと悲しさを感じている。4月から清鷹小学校に中央小の遺伝子は引き継がれる。学校生活で身につけた中央ハートで、幸せになるために学び続け、前へ進んでほしい。中央小を支えてくれた地域の皆さんに見守られながら閉校式を終えられることに感謝申し上げます」と謝辞を述べました。

鷹巣中央小学校の沿革

- 明治8年 脇神学校を創立
- 20年 脇神尋常小学校と改称
- 34年 沢口尋常高等小学校と改称
- 41年 沢口尋常小学校と改称
- 昭和16年 沢口国民学校と改称
- 22年 沢口村立沢口小学校と改称
- 29年 学校給食開始
- 30年 町村合併により、鷹巣町立沢口小学校となる
- 44年 創立80周年記念式典
- 34年 全国給食優秀校として表彰
- 鷹巣町立鷹巣中央小学校と改称
- 新校章制定
- 46年 校歌制定（作詞 高村禪雄 作曲 岡田志津磨）
- 47年 中央校舎と鷹巣校舎が統合、高村岱に新築移転
- 50年 創立100周年記念式典
- 平成2年 校舎内・外装を大改修
- 7年 創立120周年記念式典
- 11年 体育館床全面改修、コンピュータ室新設
- 12年 わらしこ山改修整備
- 16年 合併により校名を北秋田市立鷹巣中央小学校と改称
- 21年 創立130周年記念式典
- 21年 学校環境緑化モデル事業完成式典
- 22年 「豪風杯校内相撲大会」実施
- 25年 「ようこそ先輩！豪風関とふれあおう」集会開催
- 27年 創立140周年記念式典開催
- 令和3年 閉校記念フェスティバル開催
- 閉校式挙行、145年の歴史に幕を閉じる